

2013 年度 行 事 部 主 催 施 設 見 学 研 修 会 報 告  
～株式会社 ダイキンサンライズ摂津～

2013.8.22 (木) 14:00～16:30

今年度は、ダイキン工業の特例子会社である『(株) ダイキンサンライズ摂津』を見学させていただきました。大企業には、特例子会社を設立しておられるところが多々ありますが、ダイキンサンライズ摂津では、精神障がい者の方の雇用にも力を入れているという印象を受けました。

当日は、会社概要の説明、会社紹介のビデオを見た後、実際に職場を見学させていただきました。施設はもちろん、それぞれの作業でも社員の方の障がい特性に応じた働きやすい環境づくりをしていることがよくわかりました。その後、顧問の應武氏より仕事内容や採用後の育成、学校現場に期待すること等を丁寧かつ具体的に説明していただきました。2 時間半の時間では足りないくらいとても充実した見学会となりました。

## 1. 会社概要

設立 1993 年 5 月 (大阪府、摂津市、ダイキン工業、グループ会社が出資している第 3 セクター方式)

従業員 精神障がい 22 名、知的障がい 20 名、視覚障がい 1 名、聴覚障がい 30 名、  
身体障がい 29 名、健常者 14 名 (府内中心に電車、自家用車等で通勤)

基本方針

- ・自らの努力と相互協力により、経済的自立を目指す。
- ・生産活動を通じて自らの成長と社会貢献を目指す。
- ・社員、家族、地域にとって誇れる企業を目指す。



特徴

- ・障がい者が主役の会社  
作業方法の改善、良好な人間関係、  
社員の能力アップ
- ・活発な地域への社会貢献活動



業務内容 100%ダイキン工業及び関係会社から受注

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 空調部門 (エアコンなど)  | 2. 化学事業部 (フッ素化学品) |
| 3. 油機事業部 (油圧機器など) | 4. 特機事業部 (医療機器など) |

雇用管理

- ・採用前に実習制度を利用。(支援学校、就業生活支援センター、訓練施設など)
- ・採用のポイント
  - ◎自力通勤 ◎簡単な読み書き ◎体力 (毎日出勤できること)
  - ◎協調性・意欲 ◎競争意識 (就職活動は競争の始まり)
- ・採用後の育成の基本姿勢
  - ◎社員一人ひとりのできないことよりできることに目を向ける。
  - ◎人の能力は無限である。
- ・配属は実習やトライアル雇用期間中の状況により決定



Q、従業員の方が、仕事のときにお互いのコミュニケーションをとるために工夫していることは？

A、作業は流れを決めて行っているので、コミュニケーションを取らなくてもいい。

Q、一人での作業はモチベーションを保つ面でしんどいと思うが、工夫していることは？

A、一人の方を好む人もいる。一緒に物を運ぶ時などの一部の作業を除き、流れ作業であっても一つひとつの部品を取り付ける作業はひとりが基本。

Q、ダイキンサンライズ摂津ができたことで、親会社の人にとってよかったことは？

A、ダイキン工業の新入社員に見学してもらっている。見学した人は、「障がい者に対するイメージが変わった。」「ここへきて、教えてもらった。」「人として障がい者を見ることができるようになった。」等、いい感想を持つようになった。

Q、ダイキンサンライズに入社するには？

A、本人の働きたいという気持ちが一番大切。

支援学校の例だと、実習を通してその生徒のいい所や課題を見極め、実習後にどう学校で訓練していくかを考えてもらっている。(実習のとき、顔だけ見せて帰っていく先生は困る。しっかりと担当者と意見交換してほしい。)

#### 4. 参加者の感想～一部抜粋～

- ・小中学校でもキャリア教育に取り組んでいますが、支援学級でも将来就職できるのかと保護者に聞かれるので、自信を持って答えられる気がします。稼ぐと生きがい、誇りの両立素晴らしかったです。
- ・それぞれの特性を生かして職場について黙々と頑張っている姿を見れて良かったです。就職するための徳育、知育、体育の項目がとても参考になりました。基礎基本の部分をこれから学校でも取り組んでいきたいです。
- ・施設環境等、ハード面が素晴らしい事はもちろんですが、働く人たちの間にチームワークやつながりが感じられることが貴社の一番の企業力であると感じました。
- ・施設内には至る所に誰もが働きやすいシステムや作業スペース、方法等、工夫がたくさんあり、驚きました。指示やシステムを工夫することで皆さんが作業できるように取り組まれているところがすごいと思います。今、指導している子どもたちの将来は心配な面もありますが、基本的な生活習慣や集中力など将来就労する上で大切になっていることを学校でしっかり身につけさせる必要があると改めて思いました。
- ・働く人たちにとって「障がい」となるものがどこにあるのか、どうすれば「障がい」がなくなるのかという視点で、仕事を見直し工夫されている点が勉強になりました。一人ひとりが意欲を持ち、集中して仕事をしている姿が印象的でした。働くために必要な力は、すべての子どもたちに必要なことであると思います。
- ・保護者と話をすると必ず卒業後の就労が話題になります。実際に障がいのある人を受け入れている企業を見学し、企業の方の話は大変参考になり、2学期以降は将来を見据えた指導、支援に役立てたいと思いました。
- ・行政や企業がビジョンを持って障がい者雇用に力を入れることの大切さを学びました。やはり障がいがあっても働くことの喜びと誇りを持って人生を送らせたいと思います。